

平成30年度 児童発達支援 事業者向け自己評価表

のびの木 茅ヶ崎本村

	チェック項目	はい	いいえ	ご意見
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		
	② 職員の配置数は適切であるか	○		利用児童の人数を考慮し適宜調整している
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	○		出入口は一部段差になっているものの、活動スペースはバリアフリーになっている。 また利用児童が分かりやすいように掲示物なども用意している
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		常に室内清掃を行い、運動器具等も消毒を行っている
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		月に一度の会議、日々の朝礼などで意識できるようにしている
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	○		アンケート結果及び保護者面談での情報を共有し業務改善につなげるようにしている
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等に公開しているか	○		
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		内部、外部研修ともに実施し資質向上に努めている
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		利用前にニーズを把握しそれに基づいた支援計画を作成、実践を行っている
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		各月、各週でプログラムを変え、内容も状況を見ながら変化させるようにしている
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		個別活動、集団活動を意識的に行えるようなプログラムを実践している
適	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝の朝礼にて必要事項の確認を行っている

切な支援の提供	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終了時には必ず個人ファイルに当日の様子を記載。打ち合わせにて情報共有している	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		ふさわしい人材が参加している	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		医療的ケア児の受け入れは基本行っていないが、受け入れた場合は対応していく
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保護者の方からの同意を得て、必要に応じ行っている
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携、助言や研修を受けているか	○			
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		必要に応じて実施したい。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		相談があった場合は個別に対応しているが全体に向けた活動は行っていない
保護者への説明責任等	㉜	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		利用者負担等については契約時に説明しているが運営規定の説明をしていないので説明していく。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			都度個別に対応している
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		開催を望まない方もおられるため、まだ実施していない

保護者への説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		都度迅速に対応している
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月中旬には必ず次月の予定を配布している
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		厳重に管理している
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	地域住民を招待できる行事を行っていない。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルは策定し周知している
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回避難訓練を実施している
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を把握しているか	○		アセスメントを取る際に保護者の方より情報を提供していただき、職員に周知している
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		食物アレルギーへの対応については、保護者からの説明を受け、対応している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事案が発生した際には対応した職員が速やかに報告書を作成し事業所内で周知している
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	記載していなかったため対応していく